2011年
くらしの得ダネ情報
10月

まいどっ!

ふるさとの城　金沢城（石川県）

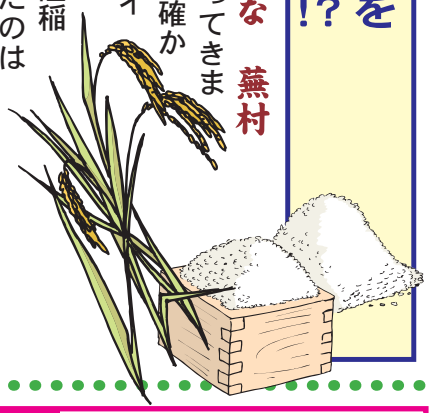
もともとは加賀一向一揆の本拠地、「金沢御坊」として築かれた城塞。その後、佐久間盛政が築城を開始するが、天正11年（1583）前田利家が能登より新たに入城。2代利長、3代利常らの手によって加賀100万石の城が完成する。現在、搦手門の石川門が重文に指定され、城址は公園になっている。

たべもの歳時記
新米（しんまい）

縄文人も米を食べていた!?

新米にまだ草の実の匂ひかな　蕪村

今年もおいしい新米の季節がやってきました。稲作の起源は諸説紛々で不確かですが、一説では約六千年前、インドのアッサム地方で始まったとも言われています。ただこれは陸稲で、日本で水稲づくりが始まったのはざっと二千～三千年前の縄文後期頃。中国揚子江地域より九州北部に伝わり、弥生時代に全国各地に広がったという説が有力のようです。以来、稲作は日本人の暮らしに欠かせない食物となり、豊穣を願う祭が生まれ、それに伴い民謡や踊りなど日本独自の芸能文化も育まれました。



年よりが四五人酔へり秋祭　普羅

稲の収穫が最盛期を迎える十月、各地では神輿や山車が繰りだし秋祭がにぎやかに催されますね。この祭、もともとは稲の豊作を神様に感謝して、今年米を供えてこの一年、稲作を守ってくれた田の神様を山に送る行事だったそうです。鹿児島県の霧島神宮の豊年ほぜ祭りや伊勢神宮で営まれる神嘗祭（かんなめさい）などは、五穀豊穣を感謝する秋祭りの代表的なものでしょう。

新酒や秋風渡る蔵の隅　乙州

ところで、米の代表的な副産物と言えばやはり日本酒ですね。特に新米を使った寒仕込みの「新酒」は酒党には待ち遠しいものですが、昔はその年の新米ですぐ醸造した酒を「新酒」、「新走り」などと呼んでいたそうで、俳句では秋の季語になっています。現在では「新走り」はもろみを搾るとき、最初に出る白濁して炭酸ガスが残っている酒のことを言い、荒々しく、新鮮な香りがすることから「荒走り」とも呼んでいます。時は秋。豊穣の神に感謝しつつ、一献傾けてはいかがでしょうか。

今月の家電品メモ

できることから、みんなで節電

灯火親しむ季節がやってきました。日立の照明器具で上手に節電。秋の夜長を楽しく過ごしませんか。

【照明器具の節電ポイント】

●使っていない明かりはこまめに消す
明るいうちはなるべく電気をつけないように。家族が同じ部屋で過ごすなど、家全体で使う時間をできるだけ短くしましょう。

●定期的にお掃除
ランプやセードが汚れると明るさがかなり低下します。

●適切な明るさで
必要以上に明るくしないようにしましょう。

日本のあかりを、もっとやさしく。日立のLED電球

省エネ
消費電力を約86%低減※1

長寿命
白熱電球の約40倍※2の長寿命

日立LED電球 一般電球形
LDA7D-A（昼光色相当）
オープン価格★

※1 当社白熱電球60W形「LW100V54W」とLED電球「LDA7D-A」との直下照度比較　消費電力：白熱電球60W形・54W、LED電球・7.3W

※2 一般電球形（E26口金）の場合。ミニクリプトン電球形（E17口金）はミニクリプトン電球（定格寿命2,000時間）の約20倍。

★オープン価格の商品は希望小売価格を定めていません。

さて、□の中は？四字熟語クイズ

秋□烈□

暦の上では10月23日は「霜降（そうこう）」。北の国からは初霜の便りもそろそろ届いてきます。こうした秋の冷たい霜や夏の激しい日差しのように、草木を枯らす気候の厳しさを表した四字熟語が今回の答え、「秋霜烈日（しゅうそうれつじつ）」。刑罰・意志・権威などがきわめて厳しく強いことの意味にも使われ、日本の検察官の記章の呼称にもなっています。